



2024年6月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日(月刊定価1部60円)
(購読料はYMCA会費に含まれています)
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村 隆
●編集人 名古屋YMCA広報

YMCA News

6

全国リーダー研修会

無限大の可能性を実感した3日間

5月4日(土)～6日(月)に岩手県の国立岩手山青少年交流の家で開催された全国リーダー研修会に参加してきました。

今年の研修会のテーマは「前途洋々～可能性は無限大～」でした。全国のリーダーとプログラムを通して、意見交換を重ねる中で、考え方は様々で、その分多くの可能性が広がっているなど感じることができました。特に私が無限大の可能性を実感できたのは、1日目に行われた、ワールドカフェです。そこでは、グループに分かれて「理想のリーダー像」を話し合いました。私自身、理想のリーダー像は何となくありましたが、言語化したことはなかったもので、初心に戻り、リーダーとは何か、自分を見つめ直さすきっかけとなりました。また話し合いを進めていく中で、リーダー同士で得意不得意を埋め合わせれば、各々が想像する理想に近づけるのではないかという結論に至りました。リーダー同士で助け合えば、何にでもなれることに気づき、目の前の自分自身の可能性も広がりました。加えて2日目の選択式ワークショップでは、自分自身にはなかった発想力を他のリーダーから吸収することができて、より自分の視野を広げることができ、これからの活動のさらなる意欲につながりました。

また、最終日には屋台村と呼ばれる、各グループで対象や狙いを決めてゲームを作り、実践するプログラムがありました。そのため、屋台村に向けて各グループで、3日間話し合いを重ねて、ゲームの作成を行

いました。どのグループも対象とねらいに沿った、工夫されたゲームばかりで、子どもと関わる上で学ぶことも多く、とても有意義な時間でした。また、改めてプログラムを考えるなかで、狙いを定めることの大切さを実感することができました。

そして、キャンプファイヤーでは、仲間と協力することの大切さや、各YMCAで行われているレクの紹介を通して、子どもと関わる上での新たな引き出しを手に入れることができました。

さらに、今回の研修で印象的だったのは、移動時間やふとした瞬間にたくさんのリーダーがキャンプソングを口ずさんでいたことです。自分だけでなく、全国のリーダーもキャンプソングが大好きなのだと感じることができ、自分の知らなかったキャンプソングを教えてもらったり、自分自身も紹介することができて、よりキャンプソングが大好きになりました。今後の活動でも子どもたちと、たくさんキャンプソングを歌って、楽しさを共有していきたいと思いました。

あっという間だった3日間でしたが、全国のリーダーに初めて会って、拠点は違っても、同じ活動をしているからこそ、強い気持ちや楽しさや喜びを共感することができ、最高の仲間になることができました。

全国のリーダーと全力で活動した日々は貴重で、一生忘れることのできないものになりました。今後は、研修会で知った自分自身の無限大の可能性をこれからのYMCAに活動に活かしていきたいと思います。



たらリーダー
小島 佳奈

リーダートレーニング

最高の仲間になれた！

私は日和田リトレを通して、グループの発展を身をもって体感することができました。特に印象に残っているのはオリエンテーリングの時のことです。最初は順調に進んでいましたが、途中で現在地がわからなくなっていました。みんなで地図とコンパスを見つめながら「こっちかな？」と試行錯誤を繰り返しましたが、なかなか目的地につきません。疲れが見え始めた頃、あるリーダーが「こっちに進もう」と指をさしました。その先は、高い草が生い茂る道でした。しかし、全員が「よし！行ってみよう！」と彼の挑戦を受け入れていました。進んでみたものの行き止まりでしたが、皆が「楽しかったね！」「貴重な体験だったよ」と前向きな言葉を交わしていました。楽しく過ごせたのは、このメンバーなら「やってみたい」を伝えられるという



関係性に発展したからこそ、挑戦を応援し合えたのだと感じました。失敗を責めず、温かい関係性を築けたことが大きな学びとなりました。

(リトルリーダー 井澤 愛美)

学童キャンプ支援のお願い

YMCAは1920年に六甲山で日本初の組織キャンプを開催し、以来100年以上、グループワークの手法を用いた教育的組織キャンプを提供してきました。現代の日本では、子どもの社会問題として虐待、貧困、教育格差、一人親家庭などが挙げられます。名古屋YMCAでは2016年から「すべての子どもたちに自然体験を」をテーマに、参加費の補助により参加の機会を広げています。学童キャンプでは、様々な世代や環境の人々が交わり、子どもたちの成長と親のリフレッシュを図り、安心して安全な自然体験を提供しています。一人ひとりが大切にされ、仲間との喜びや自然の中での挑戦を通じて、子どもたちの自信や期待を育む場となっています。多様な世代の子どもたちに自然体験の機会を提供するために、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。(担当スタッフ 小島 陽)

お申込みはこちら

1期 : 7月22日(月)~7月27日(土)
2期 : 7月29日(月)~8月 3日(土)
場所 : YMCA日和田高原キャンプ場
対象 : 小学生



ご支援はこちら

- 三菱UFJ銀行
きよなみ支店(804) 普通
1117990 公益財団法人名古屋YMCA
- ゆうちょ銀行
同封の振込用紙記載の口座
- 名古屋YMCA各拠点窓口



連載③ 名古屋YMCA体操教室の特徴 2

今回はYMCA体操教室の特徴として、技ができるだけでなく、そのプロセスにも子どもの成長に欠かせない大きな価値があることから、リーダーは子どもの自主性や積極性を促す関わり方に努めていることを挙げました。今回はさらにYMCA体操教室の特徴を別の視点から紹介しましょう。

いろいろな理由から戸外で遊ぶことが減ったことで、子どもたちの基本的動きの習得は低い段階のままであると述べましたが、その余波は目に見える運動のレベルだけではありません。子どもの精神的・社会的問題としてもクローズアップされてきました。かつて子どもたちは遊び仲間との関係の中で多くのことを学んでいました。もめごとがあってもお兄さんお姉さんが仕切っていたり、取っ組み合いのケンカになっても許容範囲をわきまえたり、遊び仲間の集団を成り立たせる暗黙のルールを理解し守っていたのです。ところが遊びのコミュニティの衰退は、倫理規範、他者理解、意思伝達、感情制御等、社会生活に不可欠な能力を育む機会も減少させたのです。その結果、不登校や引きこもり、ゲーム依存やスマホ依存、他人の痛みや辛さを感じとれない、限度を越える子どものケンカ、少年犯罪等々、子どもの危機的状況として取り上げられてきました。

多くの体操教室では技能レベルが同じような子どもをひとつのグループにまとめて練習するのが一般です。それは一斉指導に都合が良く、練習の効率が上が

り、子どもたちの競争意識が高まり、技の覚えも早まるというのです。技ができるという目標に特化した成果主義では子どもの今日の問題に正面から取り組むことはしないでしょう。

YMCA体操教室は技を覚えると共に、子どもたちの相互交流や友達づくりを支援する場でもあります。それだからこそ集団活動で自然発生的な「子ども同士の教え・教わる関係」を大切にしています。練習はグループ練習と全体練習の2つの形態で行っていますが、他所の体操教室との違いは全員で一緒に行う基礎的な導入練習に多くの時間を割いていることです。ここでは上手な子や高学年の子は幼児や低学年のお手本であり、時にはコツの伝達も行い、リーダーの代役をこなすこともあります。長なわとびは男女、年齢、能力の別なくほぼ全員で行い、かけ声をかけ、励まし合う姿は心あたたまるものです。

子どもたちの自主性や積極性さらには精神的・社会的成長を促し、なおかつ技をできるように導くことは確かに難しいことです。それでもその実現へのアプローチを可能にしているのは、リーダーたちが体操以外に子どもの成長をはっきりと見すえた野外活動にも携わって、子どもが変わっていく様子を肌で感じているからでしょう。リーダーたちは保護者の方々との連携を密にしながら子どもたちが健やかに成長していくことを大きな喜びにしています。

(名古屋YMCA体操教室アドバイザー 三上 肇)

総主事コラム

東京アクアティクスセンター

コロナ禍が終息し、ようやく出張の機会も通常に戻りました。会議は対面式とオンラインが併用され、直接会うことの大切さに改めて気づかされるとともに、オンラインの便利さも享受しています。先日2日連続して東京で会議があったので、余裕のあった2日目の午前中に東京オリンピック2020の会場であった東京アクアティクスセンターを訪れることにしました。長水路(50M)プールでオリンピックの気分を少しだけでも感じようと楽しみにしていましたが、当日は一般開放されておらず、急遽千駄ヶ谷にある東京体育館室内プールに行先を変更し、僅か700円で水深2mの50mプールを堪能いたしました。水泳の聖地といえば、1964年東京オリンピックの会場となった代々木オリンピックプール。2代目は老朽化し

た施設に代わり1993年にオープンした辰巳国際水泳場。そして東京オリンピック2020のために造られた東京アクアティクスセンター。東京オリンピック2020開催にあたり、公認プールとして国際基準を満たしている辰巳国際水泳場は観客席が不足しているという理由で水球会場に限定され、隣接地に東京アクアティクスセンターが造られました。古い建物を大切に使用する欧州の文化とは違い、約30年ごとに新しい場所に新しい施設が造られる。TOKYO2020レガシーの理念は生かされたのでしょうか。スポーツを楽しめる環境は平和で文化的な営みであるはずなのに、日本は豊かさを勘違いしているように感じます。因みに、日本で最初の室内プールは1917年東京YMCAに造られ、従来の古式泳法に変わって近代泳法が研究され、世界に羽ばたく多くのトップスイマーが育っていきました。

(中村 隆)

夏休みプログラム募集開始！

夏休みプログラムの募集が始まりました！コロナ規制以前の風景が戻り、子どもたちの笑顔や交流を見られることをうれしく思います。昨年度は会員のみならず、YMCAにまったく関わったことのない方や、祖父母から勧めていただいた方、海外から一時帰国された方

など、幅広い層にご応募いただきました。

今年もたくさん子どもたちやそのご家族に参加していただけるよう、安全で楽しく、豊かな心身が育まれるプログラムを準備しております。ぜひご応募ください！



維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年4月20日～5月22日)

維持会員 (継続)

義井 裕子 坂本 清則 岡本 栄世 塩田 保 田中 万寿 磯部 裕幸 磯部真知子 鈴木誠一郎
渡辺 真悟 馬場美菜子 高橋 咲季 水野かきつ 永田 春香 今村 敦司 安細 好子

Olson Kikuchi 三恵

寄付金・募金

(学童キャンプ支援) 杉浦真喜子

早天祈祷会

日時	6月4日(火) 7:45～8:30
会場	名古屋YMCA5F チャペル
奨励	高岡 清 牧師 (日本基督教団田原吉胡 伝道所代務者)

ワイズコーナー 6月例会の予定

名古屋	6月11日(火) 19:00～	第一例会 新入会者歓迎会	ラ・スースANN
	6月17日(月) 19:00～	第二例会 役員会	Zoom
名古屋東海	6月13日(木) 18:45～	卓話「タイトル未定」 講師：栗元 貴司氏	ラ・スースANN
名古屋 グランパス	6月19日(水) 19:00～	引継ぎ	名古屋YMCA & Zoom

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
 YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
 南山ファミリーYMCA 052-831-6968
 南山幼稚園 052-831-8271
 神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
 YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
 名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
 発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
 かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんといい幸せ なんといい楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」 (詩編133篇1節)